



2008～09 年度
国際ロータリー会長

李 東 建

Weekly Report Niigata



2008～09 年度
新潟ロータリー会長

柴 田 史 郎

新潟 RC 3月第5例会 (2009.3.31) No.2794

(1) ロータリーソング「我等の生業」斉唱

(2) 柴田 史郎会長挨拶

最初の黒人アメリカ大統領オバマ氏は大変演説が上手です。単に上手だというだけでなく、其の演説からは格調の高さと、ご本人の人物の誠実さが感じられます。

彼の就任演説を読みますと、全体的印象として、非常に散文的かつ抽象的でときに詩を読むがごときであり、しかし分かりやすく人の心に訴えてくるものを持ち、極めて説得力のある内容であるという感じです。演説の内容は、アメリカが非常に困難な状況に立たされていること。外交、経済、教育、医療など問題が山積していること。それらを認めたいうえで、アメリカ国民はこの難局を必ず乗り越えられる、と力強く訴えかけています。乗り越えられるという根拠は何か。それは、アメリカ国民の持つ不朽の精神、そこから生まれる優れた資質と、それに加うるに崇高な理想が存在するからだと言っています。其の理想とは、[常に万人が平等であり、自由であり、幸福を満喫する機会が与えられなければならない]ということであり、この理想を世代から世代へ引き継いできたし、これからも引き継ぐ決意を国民が持っていることを信じるものであること。独立戦争、南北戦争、世界大戦、人種差別それらを乗り越えてきた自国の歴史を思い起こそう。理想を求めて、倒れていった多くの人々のことを思い出そう。国のよりどころは、結局のところアメリカ国民一人ひとりの信念と決意にかかっているのだと。そして、普遍的な真理、価値観であるところの勤勉、正直、勇気、フェアプレー、寛容、好奇心、忠誠心、愛国心などをもってすれば必ずや難局を乗り越えられるだろう、と述べています。

国民の知性を信じ、そこに訴えかけようとする姿勢が感じられ、聞くものの胸に深くしみわたり、国民一

人ひとりを奮い立たせる力を持っている演説といえるようです。

これが、単なるレトリックでないことを、これからの政治実績で示して欲しいものです。

一方日本においても、国民の知性を信じ、過去国民が難局を切り開いてきた歴史をひも解き、国民の持つ優れた資質を分かりやすく提示し、国民に切々と訴えかけるような演説の出来る宰相が出てきて欲しいと願わざるを得ません。

(3) 山田 正彦君退会挨拶

私が新潟に赴任したのは中越沖地震の直後で、どうなることかと思いましたが勤勉な職場スタッフに恵まれてやってこれました。新潟を離れる人達からよく聞くことは、酒と食べ物が美味しかったということですが私は、新潟の良さは人にあると思います。個人的には新潟検定にトライし合格したこと、スクューバダイビングを楽しんだりさせて戴きました。

(4) 委員会報告

柴田 史郎会長

交換学生のホストファミリーをしてくださった会員の方々から原稿を頂戴しました。貴重な体験談や交換学生事業に対する提言などを頂き感謝しております。これを当初電子化して保存するだけの心積もりでしたが、関係者と協議した結果、小冊子にまとめて会員皆様に配布する事にしました。会員全員に配るのであれば内容を書き改めたい、と思われる方がもし居られましたら、訂正の上4月中旬までに事務局へお送りください。

(5) 幹事報告 (山田 隆一幹事)

・ロータリーレートが4月1日より1ドル90円より98円に変更となります。

・例会終了後、4月11日の公開シンポジウムの打合せを行ないます。関係者の方は例会場前のロビーにお集まり下さい。

(6) 卓話「テレビ受信センター業務について」
総務省新潟県テレビ受信者支援センター長
牛 陽 吉 雄 氏

4月7日の例会予定
「R 情報委員会のお話」

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス
<http://www.niigatarc.jp/>

雑誌月間

広報委員長 高橋 秀樹

4月は「ロータリー雑誌月間」になっています。毎月わたしたちの手元に届く「ロータリーの友」はページ数も多く、気がつくと次の号がやって来て、ついつい読まないままになってしまうこともあるでしょう。しかし、次年度の地区運営方針に目を向けますと「思いやりの心で友情を深めるロータリーの心と原点を大切に」となっております。「ロータリーの原点」について考えるとき、「ロータリーの友」はとても豊かな情報の宝庫となっていることにお気づきになられると思います。毎月、横組みのページの最初の方には、ロータリーの基礎知識が解説され、続くページには月間テーマに基づく具体的な活動が記されています。

会員の親睦という点でも「ロータリーの友」は有益です。クラブメンバーからの投稿を読むのは毎回楽しみです。また、親睦と言った場合、国内外の他のクラブとの親交もあるわけですが、普段、他のクラブの様子について知る機会、そう沢山あるわけではありません。他クラブの活動の記事などもいろいろと興味深い事柄に満ちています。毎月すべてのページを読みとおすことは大変ですが、そのために広報委員会の活動があります。毎月「ロータリーの友」の紹介を続けていきますので、関心をひいたところなど、少しでも多くのページをお読み頂けましたら幸いです。